

木村俊介コンサート

花あみの人と 演出家・山下晃彦氏を偲んで

この先10年、いや20年、演出家と音楽家として、共に悩み、共に心弾ませながら、新しい舞台を創っていくものと、思っていました。これまで通り、親友のように私を信じ、兄のように私の行く道を照らしてくれていると思っていました。2年前の今日、山下晃彦氏が逝って以来、氏がどれほど自分に力を与えてくれたのか、自分がどれほど氏に助けられていたのか、痛感する日々です。氏の情熱、信念、作品への愛や人への優しさが、私の感性を震わせて、いくつもの音楽が生まれました。言い尽くせぬ感謝と追慕の念をこめて、演奏します。

作曲/笛・三味線 木村 俊介

和楽器奏者(笛・三味線)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の施法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸35ヶ国の音楽祭に招聘出演している。2020年より、エッセーとCDによる会員制季刊誌『音之文』(オトシブミ)を発行。'22年 ◆演劇倶楽部「座」公演『ハーンの面影』(恵比寿エコー劇場)の音楽を担当。'23~'24年 ◆カヤグム奏者・朴 淳卿氏とのLIVEプロジェクト『鶴の橋の上で』を日・韓で開催。山下晃彦氏演出による、数々の舞台において、作曲・演奏を担当。《木村俊介 website》 <http://insho.kmlw.net>



ゲスト



ヴァイオリン 西田ひろみ

上野学園大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを江藤俊哉、篠崎功子、竹内茂氏に師事。在学中、微分音グループ「シジジーズ」を結成。作曲家冷水ひとみと共にTZADIKレーベルよりCDリリース、ライブ活動、TV番組、CM等の音楽製作に携わる。スタジオワークにも多数参加。'95~'98年カイロに滞在し、アラブヴァイオリンをアブドダギールに師事。現地のミュージシャンとも多数共演。'13年シジジーズの新作「otona」をリリース。'15年イタリアボローニャでの「アンジェリカフェスティバル」に参加。現在は邦楽器との共演も多くジャンルを超えたヴァイオリン奏者として数々の国内、海外公演に参加している。



二十絃箏 稲葉美和

4歳より生田流箏曲を学ぶ。CD「遠くの雨」「あおのむこう」(コントラバスとのデュオ)、「桜の咲くころに」(箏ソロ)等。オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、NHKスペシャル「大地の子を育てて」('05年日本賞グランプリ受賞番組)を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳やヤドランカのコンサートツアーに参加するなど、个性的で心地よい音づくりを追求しつつ活動中。邦楽器の為の作曲・編曲も多数。H.24年度宮城道雄記念コンクール作曲部門第一位。<http://inaba.kmlw.net/>

2025年 **3月30日** 日

〈昼の部〉 13:00開場 14:00開演
〈夜の部〉 17:30開場 18:30開演

※各回、休憩を挟み前後半の2ステージ

【料金】 4,800円 (季節の一品付き) ※別途1ステージにつき、1オーダーお願い致します

【会場】 GRECO (グレコ)

JR大塚駅北口より徒歩8分

【アクセス】 GRECO 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-34-18

JR大塚駅の改札を出たらすぐ左(北口)へ。スターバックスコーヒーに向かって横断歩道を渡り右側の道を進む。マクドナルド、すしみさき、天下寿司を過ぎて正面の横断歩道を渡る。都電の線路を越え、上木家(たこ焼き屋)を左手にしてそのまますすぐ進む。信号機がある横断歩道を渡ったら、左折する。右手に「100円ローソン」、伊藤フラワーを見つ道なりに行き、「大東京信用組合」を過ぎたらその次の角を右折して小道へ入る。(信号がある交差点で、角にGRECOの看板あり。)住宅地の中を50メートルほど歩くと、右手にGRECO。

ご予約・お問合せ

【木村俊介】 ● Email insho@sky.plala.or.jp

● tel. 090-8346-5548

【GRECO】 ● Email greco@greco.gr.jp

● tel. 03-3916-9551 (14:00より)

